

自立と誇りある
日本をつくります



自民党衆議院埼玉県第3選挙区（越谷市・草加市）支部長

スマトラ沖大地震の教訓～現地現場主義の大切さ～ きかわだひとし 黄川田仁志

特集 地域のことは地域が決める！～地方分権とは何か？～

※きかわだひとしを応援する会 入会のご案内など

きかわだステーション

第 11 号

※『きかステ』と呼んでください！

スマトラ沖大地震の教訓～現地現場主義の大切さ～

自由民主党衆議院埼玉県第三選挙区支部長の黄川田仁志です。

私は海洋政策の研究者だったので、海に関するいろいろな情報が入ってきます。津波に関する情報も入ってきます。皆さんは、2004年に発生したスマトラ沖地震を覚えていらっしゃいますか？

私の研究者仲間、スマトラ沖地震から1年経った被災地の現場を歩いた者がいました。彼が言うには、スマトラの被災地では、現地のニーズに合っていない、信じられない支援が行われていたそうです。国連から復興チームがインドネシアに入りましたが、そのチームは、首都ジャカルタやその他の大きな都市において、被災した現地を見ずに、復興計画を立て、実行してしまいました。

例えば、ある被災した漁港に新品の漁船が、使われないうまま長く放置されていました。どうしてそのようなことになったかという、国連の支援チームが、地域漁業の復活には、津波で流出した漁船が必要だと判断し、漁船を購入したからです。漁船を動かさず漁師が津波で亡くなってしまったことには、全く気付かずに。ウソのようなホントの話です。現地現場主義が徹底されていれば、このようなことにならなかったのではないのでしょうか。現場の状況を的確に伝える人や手段がないことが、的外れな復興へとつながったのです。私は、この話を聞いて、発展途上国だからこのような問題が起こるのだと高をくくっていました。しかし、先進国であるはずの日本でも、同じようなことが起こっています。

東日本大震災から約1年が経ちましたが、復興への道筋は、なかなか見えてきません。

この日本で、1年経ってもまだこの状況かと、私は悔しい気持ちでいっぱいです。復興が進まない理由の一つに、スマトラ沖地震同様、現地現場主義が徹底されていないことが挙げられます。

例えば、山を整地して高台に移転先の住宅をつくるには、国の許可を8カ月待たないといけないのです。この緊急時に、8カ月も待てますか？住む家もなく、路頭に迷う被災者の皆さんを目の前に、8カ月も待てとは、普通は言えません。許可する国の官僚は、このような現地の逼迫した状況をちゃんと理解していないのではないのでしょうか。机上の空論で復興計画を策定しても、被災者の方たちの助けにはならないのです。まさにこれでは、インドネシアと同じことになってしまっています。何とも情けない限りです。

このような状況を改善し、復興を成し遂げ、日本が発展するためには、「地方分権」を進めなければなりません。国のかたちを変えるという抜本的な改革を実行し、地域の自由意思による、魅力あるまちづくりを、日本全国で進められるようにしなければなりません。このままでは、地域のやる気は削がれ、国も活力を失くしてしまいます。

私たちに、東日本大震災の教訓を国づくりに生かす義務があります。「地域のことは地域が決める時代へ…」。

黄川田仁志は、地方分権に積極的に取り組みます。

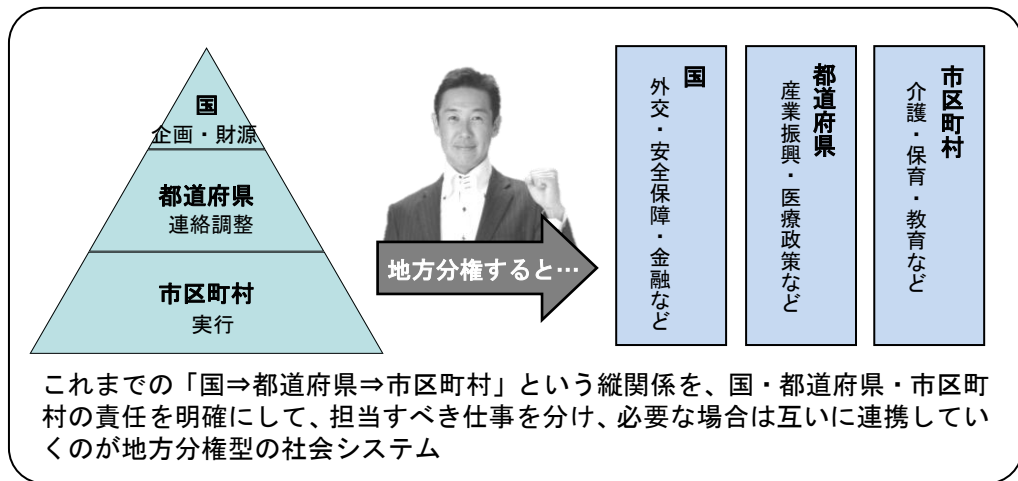
平成 24 年 5 月吉日 自由民主党衆議院埼玉県第三選挙区支部長

黄川田仁志

地域のことは地域が決める！～地方分権とは何か？～

今、東日本大震災の被災地復興が、ニュースで毎日のように取り上げられています。しかし、依然として復興はなかなか進んでいません。「一体、政府は何をやっているのか！」と思われる方も多いでしょう。復興がなかなか進まない原因の一つに、日本の国を運営するシステムが、中央集権型であることが挙げられます。何百もある被災地を国が引っ張って復興することは不可能です。なぜなら、必要な回答が1つではないからです。

そこで必要なのが「地方分権」という改革です。20年以上求められている改革ですが、未だ達成できていません。



日本の行政は、まだまだ、国（霞が関）を頂点とした中央集権型です。そのため、福祉や教育といった、私たちの生活に密着した問題も、国が大きく関与して決定されています。このように国にある様々な意思決定権を地域に委ねようとする動きが「地方分権」です。

地域の問題は、その土地の文化や風土が反映されて様々です。それに対して霞が関は、全国画一の対応は得意ですが、地域毎の個別の対応は苦手です。そのため、いつまで経っても、私たちの生活に密着した地域の問題がなかなか解決できません。また、財政も国がサイフのヒモを握っていることがほとんどで、地域が自由に使い道を定められるお金はとても少ないのが現状です。

地域のことは地域で決められるよう、様々な法律や行政システムを国会でかえていく必要があります。どんなに地域で積極的に頑張っても、国が変わらなければ意味がありません。「地方分権」を進めることは、国会議員の重要な仕事なのです。黄川田仁志は、国会議員として、次のこと取り組むこととお約束します。

- | | | |
|---------------|---|------------------------------|
| 国の出先機関の廃止・統合 | ⇒ | 2重行政の撤廃！無駄を取り除き必要な政策に財源と人を！ |
| 国税と地方税の体系の見直し | ⇒ | 必要なところに必要な財源！お金が無くては何もできません！ |
| 現地現場主義の徹底 | ⇒ | 机上の空論ではなく、地域と連携し、国民の声を行政に反映！ |

～一緒に日本の政治を考え、行動してみませんか？～

きかわだひとしを応援する会 入会のご案内

きかわだひとしの政治理念及び活動に共感し、応援していただける方を募集しております。越谷市または草加市にお住まいの方なら、どなたでもご入会いただけます。入会金・年会費は不要です。会員の皆様には、活動報告等をお届けします。入会を希望される方は、恐れ入りますが、下記までご連絡いただきますようお願い申し上げます。



「自立」と「誇り」ある日本をつくりたい

きかわだひとしを応援する会

〒343-0813 埼玉県越谷市越ヶ谷 2丁目 8-31 Tel 048-962-8005 Fax 048-962-7999

Mail : info@kikawadahitoshi.jp HP : <http://www.kikawadahitoshi.jp>

Blog : <http://ameblo.jp/kikawadahitoshi/> (Ameba 政治家ブログ)

ボランティア大歓迎

きかわだひとしの活動をお手伝いいただける方を募集しております。上記まで連絡願います。

カンパ募集しております！

サラリーマン出身のきかわだひとしの政治活動拡大に向け、皆様からの温かいカンパを募集しております。

きかわだひとしとは？…次期衆議院議員選に向けて活動中。東京理科大卒、米メリーランド大学大学院修了。松下政経塾出身。元環境コンサルタント。昭和45年生まれ。趣味は剣道・空手・スキューバダイビング・野球・三線